



美浜発電所1、2号機の新燃料輸送（搬出）について

2020年12月16日

関西電力株式会社

当社は、2017年4月から美浜発電所1、2号機の廃止措置を開始していますが、このたび、発電所に保管していた新燃料集合体の一部を、下記の通り米国の燃料加工メーカーに輸送（搬出）しました。

記

1. 輸送行程

2020年11月25日20時00分 美浜発電所 発

2020年12月15日23時35分 米国 Framatome Inc.
(現地時間：2020年12月15日06時35分着) リッチランド工場 着

2. 輸送数量

新燃料集合体 24体（輸送容器 12個に収納して運搬）

3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

4. 輸送方法

陸上輸送および海上輸送

以上

<参考資料>

- ・『輸送における安全性について』

<参考資料>

『輸送における安全性について』

1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概略

型式：MFC-1型・・・12個

形状：円筒形

寸法：全長 約5m

外径 約1m

重量：約3.8トン（輸送容器だけで約2.8トン）・・・8個

約4.0トン（輸送容器だけで約2.8トン）・・・4個

材質：鋼鉄製

3. 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、原子力規制委員会により確認されたものです。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両の積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しております。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防、警察、自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしております。

以上

別 添

「A型核分裂性輸送物の安全基準」

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条に基づき、国が定めているA型核分裂性輸送物に係わる技術上の基準の主なものは、以下の通りである。

- ①線量当量率 : 表面で2 mSv/h 以下
表面から1 m離れた位置で0.1 mSv/h 以下
- ②表面密度限度 : α 線を放出する放射性物質の場合、 0.4 Bq/cm^2 以下
 α 線を放出しない放射性物質の場合、 4 Bq/cm^2 以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

- ①一般の試験条件 : 水の吹きつけ試験
自由落下試験
圧縮試験
貫通試験
- ②特別の試験条件 : 9 m落下試験
棒上の1 m落下試験
耐火試験
浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界に達することがないように、法令の基準値を満足している。

以 上